

近畿地方初記録のリュウキュウコオロギバチ

宮下直也

リュウキュウコオロギバチ *Liris deplanatus binghami* Tsuneki, 1967 は南方系の種で、日本では四国・九州以南を中心に分布している。近年は本州でも、山口県（田中, 2011；宇部市, 2023）、静岡県伊豆半島（村木・渡辺, 2011）、神奈川県（川島, 2010. 渡辺・川島, 2016）、千葉県（中村, 2021）などで報告があり、分布が北上傾向と考えられている。

2022年12月2日、姫路科学館の敷地内のタイル上に静止していた、近畿地方初記録と思われる本種を採集したので報告する（図1, 2）。

1ex, 兵庫県姫路市青山 (34.851°N, 134.627°E), 2 XII 2022, 宮下直也採集。

本種は主にクチキコオロギ *Duolandrevus ivani* (Gorochoy, 1988) を狩るとされるが、姫路科学館の周辺は主に二次林や竹林であり、クチキコオロギの生息環境（照葉樹林）とは異なっていた。また、今回の発見から、本種はすでに瀬戸内海沿岸や紀伊半島にも分布している可能性が高いと考えられた。

本稿の執筆にあたって、渡辺恭平学芸員（神奈川県立生命の星・地球博物館）には本種の同定についてご確認いただき、松本吏樹郎学芸員（大阪市立自然史博物館）には近畿・中国地方における本種の記録についてご教示いただいた。末筆ながら厚く御礼申し上げます。

○引用文献

- 宇部市, 2023. 宇部市自然環境調査報告書, (https://www.city.ube.yamaguchi.jp/_res/projects/default_project/_page_/001/002/795/sizen_honpen.pdf).
- 川島逸郎, 2010. 横須賀市におけるリュウキュウコオロギバチの記録. つねきばち, (17): 28.
- 田中伸一, 2011. 山口県産有剣類のデータ集. 豊田ホテルの里ミュージアム研究報告書, (3): 65-98.
- 中村涼, 2021. 千葉県初記録のリュウキュウコオロギバチ. 房総の昆虫, (69): 90-91.
- 村木朝陽・渡辺恭平, 2011. 静岡県伊豆半島におけるリュウキュウコオロギバチの採集記録. つねきばち, (19): 33-34.
- 渡辺恭平・川島逸郎, 2016. 神奈川県内における2011年以降のリュウキュウコオロギバチの記録. 神奈川虫報, (188): 35.

(Naoya MIYASHITA 姫路科学館)



図1. タイル上に静止するリュウキュウコオロギバチ

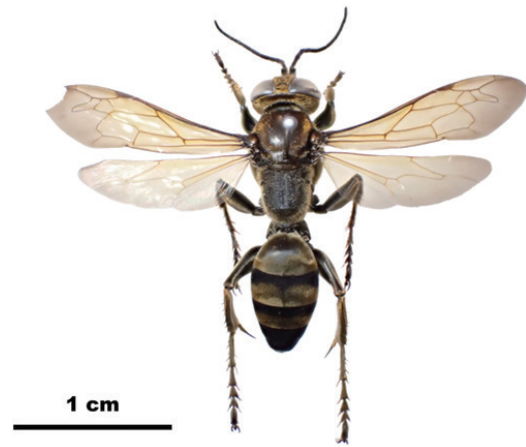


図2. リュウキュウコオロギバチ (標本)